

ツツガムシ病に 気をつけて

ツツガムシ病が異常発生しています。今季第1号の患者が確認されたのは昨年より3週間近く遅れていたものの、以後5日ほどの間に鷹巣町でたてつづけに3件が報告されるなど、異常な増加を見せています。

農薬などの使用でダニが減った結果、ツツガムシ病もごく珍しいものになりました。しかし、環境問題が叫ばれて以来、農薬の使用が制限されたためか最近ではダニが増え、それに伴ってツツガムシ病も再び増加してきました。

ただし、ツツガムシに刺されても必ず発病するとは限りません。リケッチアを持たないツツガムシの幼虫に刺されても発病しませんし、リケッチアを持っていた確率は五百匹から千匹に一匹程度に過ぎないからです。

症状

リケッチアを持つツツガムシに刺された場合でも、すぐにはそれと気付きませんから、七日から十日ほどの潜伏期間を経て発病し、初めて気付かされるのがほとんどです。

潜伏期間中は刺された個所の周辺が赤い小さな水ぶくれになっていて、発病するころにはそれにウミがたまつたようになり、黒いかさぶたになりはじめています。更に潰瘍になるのですが、あまり痛くもかゆくもないので、それがツツガムシ病の初期の病状であるとは思わないようです。発病すると体がだるくて食欲がなくなり、次いでひどい頭痛や寒気と一緒に高熱が訪れます。発病後四、五日たつと、胸・背中・腹部にかけて赤褐色をした二、三ミリの発疹が出

はじめ、顔や頭にも出てくる場合があります。また、多くの場合刺された部位に近いリンパ節がはれて痛みます。

ツツガムシに刺されやすい部位は、陰部、内また、わきの下、胸、腹など皮膚が柔らかい部分。何枚もの衣服で覆われている所がむしろ狙われやすいようです。

予防

ツツガムシに刺されないための完全な予防策はありません。しかし、ちよつとした気配りで、刺される可能性を低くすることはできます。野山に出る時ばかりでなく、庭仕事をする際など、日常から次のようなことに気を付けましょう。

- ① 長ぐつやゴム手袋を着用し、できるだけ皮膚を露出しないようにする
- ② 地面に直接腰をおろさないようにする
- ③ 帰宅後は入浴し、衣類を取り替える
- ④ 脱いだ衣類は部屋の中に持ち込まず、洗濯か日光消毒する

前述したようにリケッチアを持つツツガムシはごくまれですし、仮に発病しても早期に適切な治療を受ければ簡単に治りますから、あまり神経質にならなくても大丈夫です。しかし、放っておくと命にもかかわる病状ですから、野外に出てから体の異状に気付いたら、すぐに医師の診察を受けましょう。

中学生ふるさと講演会

ふるさと心の芽

『このまちであなただけを残しますか？』
何を残しますか？
何を伝えますか？



萩原 茂裕 (はぎわらしげひろ) 氏 略歴

昭和4年北海道旭川市生まれ。慶応義塾大学経済学部卒業。昭和翌年から経営コンサルタントを始める。以来、地域開発・ふるさとづくりを手がけ、旭川市の買物公園、十勝ワインの池田町、世界のスキー都市・富良野市、八戸市のLOVEはちのへ運動、一村一品運動で有名な大分県のレッツラブ大分など、数多くの地域づくり計画の策定に携わる。著書に「手づくりのふるさと」「日本人とまちづくり」「第4の教育、ふるさと教育」などがある。

日本ふるさと塾主宰の萩原茂裕氏による「中学生ふるさと講演会」が開催されます。萩原氏のな

▽聴講は無料で、どなたでも入場できます

ところ・下川沿中学校体育館
講師・日本ふるさと塾主宰 萩原 茂裕氏

とき・6月11日(土)
9時30分～12時30分 (開場9時)

豊富な実例を交えた、まちづくり・人づくりの話が聴けそうな予感がします。どうぞお誘い合せてご来場ください

かに一貫して流れているのは「住む人たちにまちを愛する心があるまちは良くなる。その心は大人だけでなく、子供のころからはぐくまなくてはならない」という考えです。また「講演に行くのでなく、まちを良くするお手伝いに行きます」とも話す萩原氏。

◎大館青年会議所HOT委員会
☎49-5140